



ホームページで平岸のニュースを毎日配信中!



道新りんご

検索

制作元：北海道新聞永田販売所

道新りんご新聞 ラジオ版：FM アップル (76.5MHz) にて毎月第3木曜日 午前10時～放送中

発行元：北海道新聞永田販売所・北海道新聞多畑販売所・道新いかわ  
北海道新聞熊谷販売所・北海道新聞野田販売所



## 第7回 株式会社 Harapeco 代表取締役 中村忠昭さん

「死にたい」とまで思いつめたパニック障害を乗り越え、豊平区を中心に飲食業を展開。りんごとラム肉を使った「こりめバーガー」の開発や、区役所食堂の運営など“食”を通じて、地域の活性化に挑む（伴野卓磨）

### ■パニック障害を乗り越えて

「こうしなさい!」と言われるのが昔から大嫌い。中学時代はやんちゃばかりし、社会に迷惑ばかりかけたクズでした。一日も早く自立したかったので、平岸中を卒業した次の日に本州に渡り、鉄筋工として働いていました。一晩で給料使い切ったり、派手に遊んでいました。でも、せっかくなら一旗揚げたいと思い、20歳のときに独立し、食品催事の仕事を始めました。

転機が訪れたのは31歳のとき。父が重い病気にかかり、みるみる衰弱。「あの強かった父が…」とショックでした。離婚も重なり、プライベートが上手くいかなくなると、それまで順調だった仕事にも影響が出てきました。人からの期待に答えたいと無茶な仕事ぶりを続けていたとき、突然体の不調に襲われました。

動悸、過呼吸、めまいなどの症状に襲われ、対人恐怖症になり、人前に出られなくなりました。まさか自分がこんなことになるとは思っていませんでした。パニック障害と診断され、仕

事もやめて5年間通院と入院を繰り返す生活。生きる希望を失い「死にたい」と思ったこともありました。

ただ、食べていくためには仕事を探さなければなりません。病気を抱えながら、飲食店「レストラン Harapeco」をオープンし、忙しさのあまり、いつのまにか病院にも行かなくなりました。お客様に、「美味しい」と喜んでもらえる顔を見て、不安がなくなり前向きな気持ちになれたことでパニック障害を克服できました。

### ■“食”を通じて地域に笑顔を

豊平商店街から「地域の名産品を使った料理を開発してくれ」と頼まれ、試行錯誤の末、完成したのが「こりめバーガー」。豊平区に縁のある食材のりんごのシロップ漬けとラム肉入りハンバーガーを使うことで納得の一品となりまし

た。昨年リニューアルオープンした豊平区役所食堂では、地域の居場所づくりとしてドリンクバーを設置し、喜ばれています。中学時代さんざん社会に迷惑かけてきたので、少しでも地域に恩返しができればと思っています。

パニック障害を経験したことで、悩んでいる人に寄り添いたいという思いを強く持つようになりました。お客様、身近な人々、従業員…みんなが笑顔になれるような“やさしく、強い会社”を作りたいと思っています。

### 【豊平区役所3階 Harapeco 食堂】

営業時間：午前11時～午後3時  
定休日：土曜・日曜・祝日  
ワンコインランチ・ドリンクバーなど  
【弁当工房 Harapeco】  
仕出し弁当・オードブル・デリバリー  
電話 374-4867



株式会社 Harapeco 代表取締役 中村忠昭さん

## 地域交流サロンぴらけし

平岸3条5丁目平岸グランドビル本館1階

### 月・火・木・金はランチとカフェ

12時～14時はカレーやうどんなどのランチタイム  
14時～15時はカフェタイム

### 水曜日は野菜マルシェ

プロの八百屋が仕入れた新鮮な野菜

### 第4火曜日はこども食堂

大人気で手料理を楽しめます

■運営元：FMアップル ☎813-2233



## まち 都市づくりの担い手として。

所有物件

- ・平岸グランドビル(本館)
- ・平岸グランドビル(新館)
- ・第2平岸グランドビル
- ・第3平岸グランドビル
- ・第5平岸グランドビル
- ・マイコンポ平岸
- ・ボミエール平岸
- ・平岸グランドビル別館

### 株式会社 平岸グランドビル

本社/〒062-0933  
札幌市豊平区平岸3条5丁目4番22号  
TEL: 011-831-4040  
FAX: 011-821-9871  
URL: http://www.hgb.co.jp  
E-mail: info@hgb.co.jp  
管理物件  
・ラ・ホーム平岸  
不動産賃貸業(貸ビル・賃貸住宅・ビル管理・駐車場)  
宅地建物取引業

豊平の皆さんと友に地域の安全・安心・活性化を目指し  
さまざまな情報を発信するコミュニティラジオ局です。

豊平区平岸のスタジオから、お役立ち情報や地域に  
密着した話題を盛り込んだ豊富な情報を、個性あふ  
れるパーソナリティが毎日お送りしています。

76.5MHz FM Radio Station **APPLE**



## HTB旧社屋売却進まず 保存求める声も

昨年9月の開局50周年を節目に「さっぽろ創世スクエア」(中央区北1西1)に移転したHTB(北海道テレビ放送)。新社屋への移行によって使われなくなった旧社屋の土地建物の売却に向けて、同社が動き始めました。

### ■制限多い立地 売却進まず

旧社屋の敷地は、2000坪(6600㎡)弱の広さ。HTBは、1968年にHBC(北海道放送)、STV(札幌テレビ放送)に続く3番目の民放として誕生しました。平岸高台にあるテレビ局として長年地域に愛されてきましたが、中心部から離れていることもあってさっぽろ創世スクエアの高層棟内に移転、それに伴って旧社屋の売却に動き始めました。

旧社屋のある敷地は、傾斜地で放送局の建物のため地下の構造は一般的な建物より堅牢とされ、解体や整地に通常以上

の費用が掛かるとされています。

旧社屋の敷地は「第一種住居地域」にかかっており、制限の小さい「商業地域」と比べ、容積率や高さ制限が大きいとされています。また、公園に隣接しており、高さ制限がかかるため高層マンションなども建設できないとされています。新社屋の移転が会社の財務状況に対して相当な負担となっており、売却に向けて入札を実施しましたが、不調に終わっているとの報道も出ています。

### ■保存や活用求める声も

HTBの旧社屋を巡っては、同局の全国的な人気番組「水曜どうでしょう」の聖地として保存を求めるファンや地域の人たちの署名活動も行われたことがあります。まちづくり関係者からは「HTBは南平岸の誇り。移転後もなんらかのシンボルを残してほしい」といった声も上

がっています。

旧社屋に取り残されたままになっているのが、屋上に設置されたHTBのマスコット on ちゃんです。新社屋にはサイズの都合上移転できず、行先は現時点で決まっていません。HTB関係者からは「平岸高台公園に設置できれば」といった声も上がっていますが、旧社屋を含め今後の行方は不透明となっています。



## 地域に親しむカルタ交流会 平岸小で初開催

2月16日(土)平岸小学校で、みなみひらぎし「カルタ交流会」が開催されました。豊平区内の地域の魅力や見どころを題材とした「魅力発見ほ〜!へ〜!カルタ」を活用し、地域への愛着をより一層高めていこうと、南平岸地区町内会連合会「元気なまちづくり実行委員会」が主催したものです。参加者や応援に訪れた地域住民など総勢100名ほどが集まり、会場は熱気に包まれました。

「みなみひらぎし絵札にまつわるエトセトラ」と題し、同町内会連合会の末廣仁志会長から、かつてこの一帯で収穫された平岸りんごが大変有名であったことや「天神山」の名前の由来などについての話が披露され、子どもたちも興味深く聴いていました。

カルタ大会は、子どもの部が11チーム、大人の部が12チームによるリーグ戦が行われ、大人の部は女性グループ

「BOO! HOO! WOO! (ブー・フー・ウー)」、子どもの部は4年生の女の子3人の「NB1(エヌ・ビー・ワン)」が優勝の栄冠を手に入れました。

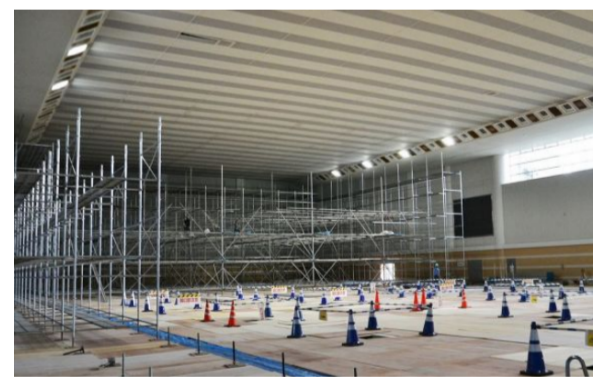
参加したこどもたちは「知らなかった地域の人とも話せて、仲良くなれてよかった」「まちの魅力がわかって、とても楽しかった」と笑顔で話していました。



真剣な表情でカルタを取り合う児童ら

## 平岸プール 5月営業再開

胆振東部地震による影響で、昨年9月から休館している平岸プールが5月11日(土)より営業を再開する予定です。平岸プールは地震で、天井パネルが落下し、プールの底部分が損傷し、休館が続いていました。水泳教室もすべて休止していましたが、5月13日(月)より順次再開し、3月18日より申込を受け付ける予定です。3月中旬には詳細を明らかにするとしています。



天井検査のため足場が組まれたプールサイド(2018年11月9日北海道新聞より)



札幌の地域的话题をきめ細かく集めた「さっぽろ10区(トーク)」毎週火曜・金曜発行

### ～広告募集中!!～

道新りんご新聞では広告を募集中です  
お問い合わせは、☎0120-128-348

北海道新聞永田販売所まで

◆発行部数：約11,000部

◆料金：月額5,000円(税抜)